

第34回

まゆみ

檀の会

令和4年2月11日（金・祝）

開演 午後1時半

（開場 午後12時半）

於 二十五世観世左近記念
観世能楽堂

シテ上スリ
福葉の山乃峯に生ふる松とし

聞かば。今帰り来ん。



今回のテーマ「舞と謡」

装束・扇の展示をロビーにて
行いますので休憩時間など
ご覧ください

撮影：山口 直也

MATSUKAZE

檀の△云

令和四年二月十一日(金・祝)

午後一時半 開演

(午後十二時半開場)

お話

舞囃子

葛西 聖司

龍

田 松木 崇俊

大鼓 柿原 孝則 太鼓 澤田 晃良
小鼓 成田 達志 笛 藤田 貴寛

●狂言 船渡 智 (ふなわたしむこ)

地謡 武田 章志 小早川 康充
武田 文志 武田 祥照

休憩 二十分

狂言

船渡 智

シテ 船頭 高澤 祐介

アド 智 前田 晃一
小アド 女 大塚 出

休憩 二十分

お話

葛西 聖司

15:40

松

風

ツレ 村雨

武田 宗典

シテ 松風 松木 千俊

ワキ 旅僧 安田 登

アイ 浦人 高澤 祐介

能

大鼓 國川 純
小鼓 成田 達志

笛 藤田 貴寛

後見

武田 友志
武田 宗和

地謡

松木 宗俊 小早川 久修
武田 崇史 岡 志房
佐川 勝貴 武田 尚浩
大松 洋一

附祝言

終了予定 午後五時二十分

【あらすじ】

●舞囃子 龍田 (たつた)

季節は冬。旅の僧(ワキ・ワキツレ)が奈良の社寺を巡拝し終え龍田明神参詣のため河内国へ急ぐ途中、龍田川に到着します。

すると一人の巫女(前シテ)が現れ「龍田川紅葉乱れて流るめり渡らば錦中や絶えなん」という古歌をひいて呼び止めます。僧がそれは秋のことではもう薄氷の張つてゐる頃なのにと、更に「龍田川紅葉を閉る薄氷」渡らばそれも絶えなん」という歌もあると答え、別の道から神社に案内します。そして霜枯れの季節にまだ紅葉しているのを不審に思う僧に紅葉が神木であることを語り、さらに龍田山の宮廻りをするうちに巫女は、自分こそは龍田姫の神霊であること名乗って社殿の中に姿を消します。

●狂言 船渡 智 (ふなわたしむこ)

智入りのため京に住む智が、矢橋の舅を尋ね、大津松本の港から渡し舟に乗り込みます。船頭は土産の樽酒に目を付けると酒を所望し、飲まなければ船を揺らすなどして智を脅します。仕方なく智は一杯二杯と酒を振る舞い、やがて矢橋に到着します。舅の家にとどまり着いた智を姑が迎えます。姑は船宅にいない舅を探しに行くのですが、その舅こそ、「智入り」とは、智が結婚後に妻の実家に挨拶をして、丕事などを執り行う儀式です。当時はこの狂言のように智入りをし、初めて舅に会うことも少なくなかったようです。矢橋と大津松本は、それぞれ琵琶湖湖東の対岸にあり、古来より東海道で京都に入る水上交通の要所でした。前半は湖上を渡る近江舟を舞台に船頭の無頼の酒好きからくる一悶着を描くと、後半では舅に対する智の懐の深さを描きます。終盤の二人で舞う連舞に、智入りの目出度い余韻を残して終わります。

●能 松風 (まつかぜ)

旅の僧(ワキ)が、月の美しい秋の夜に須磨の浦を訪れます。松風、村雨二人の海女の旧蹟を弔った後、とある塩屋に宿を借ろうと訪ねたところ、小屋の主である二人の若い女の海女(シテ・ツレ)が、浜辺の夜景をめでながら汐汲み車を引いて帰って来ます。僧は一夜の宿を請い得て喜びつつ、在原行平の詠歌「わくらわに」を口にし、夕暮れに弔った松風、村雨に、ゆかりのある松のことを話します。

すると女たちは急に涙を流すので、訳を問うと、実は自分たちは行平の愛を受けた松風・村雨二人の海女の幽霊であるが、行平との契りが忘れられ、その玄執にひかれて、こうして現れ来たものだと言います。昔を懐かしんでいるうち、松風は行平の形見の衣を手に取り、こうして現れ抱き締めて恋慕の思いにむせびます。そのうちに松風は物狂おしい体となり、形見を身に付けて舞を舞い、僧に弔いを頼んで夜明けとともに消え一行します。

能「松風」の世界観を
覗いてみませんか？YouTube 松の会公式チャンネル
「松の会 MATSUNOKAI」より
檀の会 PR 動画 Noh「Matsukaze」

一般社団法人

松の会

お申込み・お問合せ

事務担当：080-2555-0626 (佐藤)
TEL・FAX：03-6767-5555
E-mail：matsunokai@gmail.com
HP：http://matsunokai.com/

料金表 (税込み)			
座席	チケット料金	座席	チケット料金
SS 席	13,000 円	S 席	10,000 円
A 席	9,000 円	B 席	8,000 円
C 席	8,000 円	D 席 学生席	6,000 円 4,000 円

新型コロナウイルス感染症拡大防止についてのお願い

- 風邪や咳などの症状がある場合は、ご来場をお控え戴きますようお願い致します。
- ご来場の際は必ずマスク (不織布が最適) の着用をお願い致します。
- 受付にて検温を実施しております。ご協力のほどお願い致します。
- 社会情勢に鑑み、止む無く内容の変更や中止を講ずる場合もございます。予めご了承いただきますようお願い致します。
- 出演者及びスタッフは検温を実施し、健康状態を確認しております。

松木 千俊
観世流シテ方準職分
重要無形文化財総合指定保持者
一般社団法人松の会 代表

葛西 聖司
かさい せいじ
古典芸能解説者
NHK文化センター
朝日カルチャーセンター講師

FAX  03-6767-5555

まゆみ
第34回 檀の会

チケット申込書

令和4年2月11日(金・祝)午後1時半開演 ●午後12時半開場

※チケットの発送開始は12月中旬となります。

座席	チケット料金	購入数
SS席	13,000円	枚
S席	10,000円	枚
A席	9,000円	枚
B席	8,000円	枚
C席 (タブレット 字幕解説付き)	8,000円	枚
D席	6,000円	枚
学生席	4,000円	枚

※座席をご指定の場合 2,000 円プラスです
(賛助会員の方は無料)

座席番号(第1希望～第3希望をご記入ください)

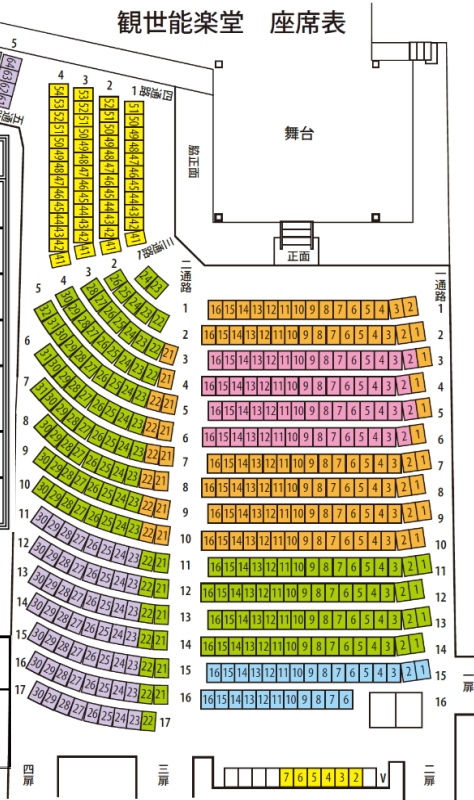
第1希望	第2希望	第3希望
列 番	列 番	列 番

賛助会員の方はチェックをお入れ下さい ☐

ご住所 〒
お名前
ご連絡先



※お申込み・お問合せを頂いた際に不在の場合は、
折り返しご連絡させていただきます。



今後 案内不要な方は
チェックを入れて下さい



【チケットお問合せ・申し込み】

事務担当：080-2555-0626 (佐藤)
TEL・FAX：03-6767-5555
E-mail：matsunokai@gmail.com